

- 丹南高等学校文化祭に参戦 1
- ふれあいサロン/イベント開催 2
- 社協会費 3-4
- 認知症と物忘れ 5
- 各相談の日程 6
- 赤い羽根共同募金 7-8

発行：社会福祉法人 鯖江市社会福祉協議会 ホームページ <http://www.sabae-shakyo.or.jp/>

自分だけのスノードームづくり ～丹南高校JRC部のみんなと一緒に～



完成した中から希望者の作品は
9月29日のふれあいスポーツ
のつどいへ寄付されます。



高齢者疑似体験セットを
装着しての制作も実施

Teamたんなん 丹南高校 文化祭に参戦!



丹南5市町(鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町)社会福祉協議会が協力して、広域的なボランティア活動の普及・啓発を目的にした「Teamたんなん」を結成し、本年度は、丹南高校の文化祭に参加し、高校生のボランティア活動の幅を広げてもう一つのために、誰でも簡単に出来るスノードームづくりをレクチャーしました。



ランティーくんも
応援に駆け付けた

今月のイベント

現在、市内には114のふれあいサロンが活動・運営されています。鯖江市社会福祉協議会ではサロンの運営や新規立ち上げなどに関する相談・年間2回の巡回を行います。定期的に活動を紹介していきます。

あやめ会 ～下司町公民館～



私たちは男女合わせて14名で毎月第3金曜日の10時からサロンを開催しています。講師のお話の後は、何か一品料理を作り食します。その後はコーヒーを飲みながら井戸端会議で話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごします。

えちてつ物語

わたし、故郷に帰ってきました。



©2018『ローカル線ガールズ』製作委員会

日時 **10月12日(土)**
13時30分～(109分) (30分前開場)
会場 文化の館 2階多目的ホール
入場料 無料(申込不要)

福祉映画上映会
鯖江市社会福祉協議会では、福祉に関する意識を高めてもらうために、福祉映画上映会を開催します。
今年、福井県が舞台となった横澤夏子初主演の『えちてつ物語』わたし、故郷に帰ってきました』を上映します。
この映画は、嶋田郁美のノンフィクション「ローカル線ガールズ」

が原案となり、えちぜん鉄道が2度の鉄道事故を乗り越えて再出発する実話を元に同社のアテンダントとして働く女性の人間ドラマです。
この上映会はどなたでも無料でご覧いただけますので、たくさんのお来場をお待ちしております。

問合せ先 ☎51-0091

『ゆうびんうさぎとおおかみがぶり』

日時 **12月1日(日)**
13時～14時(15分前開場)

会場 アイアイ鯖江
定員 80名
チケット 500円/4歳以上
※チケットは11月1日(金)から、アイアイ鯖江にて販売します。



人形劇トロッコ がやってくる

今年も子ども交流事業の一環として、親子で一緒に楽しめる人形劇を、鯖江子ども劇場の協力のもと開催します。今年、NHK番組『おかあさんといっしょ』やカナダでの万国博覧会にも劇出演したことのある人形劇トロッコをお招きします。
ここるところをつなぐやさしいお手紙のお話です。ご家族みんなで見に来てください。

問合せ先 ☎51-0091





認知症と物忘れ

多くの人は60歳頃になると、記憶力に加えて判断力・適応力などに衰えがみられるようになり、脳の老化が始まります。高齢者の物忘れには「加齢による物忘れ」と認知症などの「病気による物忘れ」の2種類があることをご存知でしょうか。

この違いをきちんと理解しておくことで、認知症にいち早く気付くことができ、本人へのアプローチ方法も変わってきます。家族など身近な方が適切な対応を行うためにも、ぜひ知っておきましょう。

出来事自体を忘れてしまう認知症

例えば、人の名前が思い出せない時、加齢による物忘れの場合「自分が忘れてしまっている」という自覚がありません。そのため、他人に教えてもらったり、自分で調べるなどして思い出すことができます。

しかし、認知症の方の多くは忘れていく自覚がなく、出来事の一部ではなく「その出来事自体」が消去されてしまし、記憶の連続性が断たれてしまいます。そのため、常に不安が付きまとい、記憶を埋めようと何度も同じことを確認しがちになります。

物忘れが体験の一部（中身）なのか、体験の全部（出来事）なのか、判別することで、認知症のシグナルに気づくことができます。

認知症は他人の方が気づきやすい

家族は認知症だと認めたくない気持ちのためか、身内の変化に気づいても「年のせい」と終わらせてしまいがちです。むしろ、認知症の初期症状は、近隣の方をはじめとする身近な他人の方が気づきやすいといえます。

例えば、「●●さんは最近何度も同じことを聞いてくる」など、接するなかで何らかの違和感を感じた時には、互いに声を掛け合うことが大切です。日頃から第三者の協力を得られることが早期発見、早めの対処に通じます。

デイサービスに通いたいけど・・・

早期発見を心掛けたとしても、なかなか思い通りにいかず認知症と診断を受けた場合、家族のサポートが不可欠となります。その分、負担も大きくなります。

そして、家族としてはデイサービス等に通いたいと考え

たととしても、認知症と診断された人の中には、集団生活が難しいため受け入れてくれるデイサービスを探すが難しい場合もあります。そのような方のために、鯖江市社会福祉協議会では認知症の方を専門に受け入れるデイサービスセンター「ふれあいの家」を実施しています。

認知症対応型 通所介護事業所 ふれあいの家



ここが自慢

- ・古民家を改装した施設で、シェアハウス感覚を楽しめる。
- ・他人にあわせるのではなく、自分のできることを自分のペースでできる

朝、夕方の送迎や、健康チェック、入浴、昼食、レクリエーションなどはもちろん、ほかのデイサービスと異なり、少人数で過ごすため、自分の好きなこと、やりたかったことを中心に、ゆったりとした1日を過ごすことができます。



庭に咲いていた花で生け花



ス々に腕を振ります！おやつづくり



古民家を改装した施設

見学・相談 大歓迎！

空き状況はホームページからも確認できます！

問合せ先
ふれあいの家 TEL/FAX 77-0023
住所 / 鯖江市吉谷町 23-11

各種相談・交流の場の案内

社会福祉協議会では、様々な相談や交流の場を提供していますので、ぜひ活用してください。

相談内容	時間	開催日
無料法律相談 弁護士が法律に関する相談に応じます。 ※相談日の1週間前から予約開始	13:30~16:30	10/7、21 11/18
心配ごと相談 民生委員が福祉に関する相談に応じます。	13:30~15:00	10/8 11/12、26
結婚相談 結婚相談員が結婚に関する相談に応じます。	19:00~21:00	10/2、16 11/6、20
ボランティアサロン ボランティアとの交流の場です。	13:30~15:00	毎月第1・3土曜日
高齢者向け囲碁・将棋 自由に集い、生きがい・仲間づくりの場	13:00~16:00	毎週土曜日

問合せ先 アイアイ鯖江 TEL 51-0091

たくみ会 (発達のお悩み相談会)	障がいのある児童の保護者のための相談・交流の場です。 会場 鳥羽事業所なかま	16:00~18:00	10/25 11/22
---------------------	---	-------------	----------------

問合せ先 鳥羽事業所 TEL 51-1839



寄付

7.23 見附 城様(御幸町) タオル

皆さんからのあたたかい心遣いありがとうございます。
社会福祉協議会への寄付は税制控除の対象となります。

悲田院 No.60 「個人と祖先」

今年もお盆が終り、また蟬の鳴く気温30度を超える日が続いている時に早稲の収穫が始まりました。農業従事者の人口は減少しているにしても、太古から戦前まで、農業は日本経済の主流で、それを支えたのは農村でした。

日本ではお盆に、祖先の霊が家に戻ってくると思われています。都会に出ていく子供達も、故郷に帰ってお祀りをします。この姿は、印度で発生した仏教の精神から来たものではなく、日本太古からの祖先信仰に由来しています。

戦後、個人主義が正しいのだと教えられてきました。西欧では、人間は神が作ったものとされていいます。個人と神とが一对一で向き合わなくてはならなくなります。個人主義は祖先と自分達のつながりを思う時、仏壇に位牌をお祀りすることになるので当然の帰結となります。一方、日本では、日本人は神の子孫だと考えていますので、祖先との関係を大切に敬

うことにならざるを得ないのだろーと思えます。祖先と自分達のつながりを思う時、仏壇に位牌をお祀りすることになるのです。

人間は脳の支配のもとで生きており、その脳は一人々々独立していますから、個人主義には説得力がありません。しかし視点を変えて、その脳は神経細胞の集合体で、その脳神経細胞も父母の細胞の受精による、継承・再発展からなっています。自分の脳だと思っている細胞も、祖先からの継承であることは間違いありません。その意味で、祖先を大切に敬うことは、自分を大切にすることは、同根なのです。

極端な個人主義が絶対でない事は、対立の多い現代社会を見ると判ります。また、極端な全体主義社会が、極めて危険な社会を作り上げてしまうことも、証明されています。絶対善はこれからも模索し続ける永遠の命題なのでしょう。

(T・Y・S)

▶社会福祉法人 鯖江市社会福祉協議会 〒916-0022 鯖江市水落2丁目30番1号 アイアイ鯖江・健康福祉センター内
▶TEL(代) 0778-51-0091 FAX 0778-51-8079
総務課 地域福祉・総務課/鯖江市ボランティアセンター
介護保険課 居宅介護支援事業所/ホームヘルプサービスセンター/神明地区地域包括支援サブセンター
デイサービスセンター/訪問入浴サービスセンター
鯖江市共同募金委員会

▶鳥羽事業所 〒916-0017 鯖江市神明町5丁目5番37号 ▶TEL 0778-51-1839 FAX 0778-51-8805
デイサービスセンターなかま 放課後等デイサービスセンター・日中一時支援
鯖江市高齢者・障害者日常生活自立支援センター 鯖江市障害者生活支援センター

▶ふれあいの家 〒916-1105 鯖江市吉谷町23-11 ▶TEL 0778-77-0023 FAX 0778-77-0023
認知症対応型通所介護事業所

令和元年度 赤い羽根共同募金

福井県共同募金会
鯖江市共同募金委員会

〒916-0022
鯖江市水落町2-30-1
アイアイ鯖江・健康福祉センター
鯖江市社会福祉協議会内
TEL 51-0091 FAX 51-8079
<http://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根共同募金運動は、身近な地域の助け合い活動です。皆さまには毎年あたたかいご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

この募金は、じぶんの町の子どもたち、高齢者や障がい者の方などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられています。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。

「あなたの募金はあなたの町へ」皆さまのご協力をお願いいたします。

鯖江市の募金目標額は
9,400,000円です。

♡この募金の使い道は♡

◆目的◆

- ◎地域福祉のために
- ◎高齢者福祉のために
- ◎障がい者(児)の福祉のために
- ◎子どもたちやひとり親家庭等のために



◆活用◆

- 社会福祉協議会の共同募金事業
鯖江市社会福祉協議会は共同募金を財源として事業を行っています。
- 公募事業
鯖江市共同募金委員会が毎年じぶんの町をよくする事業を募集し、助成を行っています。

募金方法

◆戸別募金

区長さんを通じて各ご家庭にご協力をお願いします。

◆街頭募金

10月1日に市内量販店や駅にて募金のご協力をお願いします。

◆大口募金

地区社協のご協力により、運動に賛同していただいた企業、団体、個人に募金をお願いします。

◆職域募金

企業の従業員の方や市役所など職域による募金のご協力をお願いします。

◆学校募金

市内小中学校の児童生徒さんに募金活動への参加をお願いします。

◆その他の募金

量販店や施設に募金箱を設置し募金のご協力をお願いします。

♡公募事業の支援に♡

スティックリングを通して、楽しみながら 認知症、介護予防をする事業

河和田スティックリングクラブ

- 頭と身体を使う高齢者のスポーツとして、スティックリングクラブを河和田地区に発足して7年目に入り、用品が古くなったので買い替えをし、今後も会員を増やすための体験会・講習会を開いていきます。

共同募金の寄付金は災害時にも 役立っています。

赤い羽根共同募金は、災害により被災された方々の支援・救援活動を行うNPO、ボランティアグループおよび災害ボランティアセンターなどへの活動資金助成を行っています。



平成30年度共同募金の実績と使いみちを報告します

ご協力ありがとうございました



昨年度、市民の皆さまからお寄せいただいた募金は 8,441,188 円で、本年度鯖江市共同募金委員会に事業費 5,022,188 円と事務費 844,000 円が配分され、広域助成して県内のボランティア・NPO・各種福祉施設への助成及び災害等準備金として 2,575,000 円が配分されました。

平成 30 年度募金額 8,441,188 円	鯖江市共同募金委員会	5,866,188 円
	広域助成（活動が県内全域34 事業）	2,575,000 円

鯖江市共同募金委員会助成事業（鯖江市社会福祉協議会事業・公募事業）
令和元年度事業費として **5,022,188 円**

地域福祉のために **3,337,000 円**

- ・災害ボランティアセンター運営事業
- ・福祉委員活動支援事業
- ・ご近所福祉町内活動助成事業
- ・結婚情報センター運営事業
- ・出会い交流事業
- ・社会を明るくする運動鯖江市大会



高齢者福祉のために **621,000 円**

- ・チャレンジクッキング 事業
- ・ひとり暮らし高齢者の集い
- ・福祉施設利用者へ音楽療法によるボランティア活動（福井水仙会 公募事業）



児童・青少年のために **583,188 円**

- ・児童遊園遊具管理推進事業
- ・特別支援学級卒業生激励会・学習支援発表会
- ・ひとり親家庭等ふれあいのつどい
- ・音楽を使って障害のある子もいない子も共に楽しむ活動（福井ドレミの会 公募事業）



障がい者福祉のために

481,000 円

- ・ふれあいスポーツのつどい
- ・各障がい者福祉団体活動支援



心の柱に木を植える みんなの居場所
ボランティアサークル・ウィン

この度は多くのご支援をいただきありがとうございました。

私たちの活動は細く長く地道に行うことで皆さまに心の豊かさを感じていただけるものと信じこれからも続けていきます。

皆さまのご寄付は人々を元気にして勇気づけていると感じています。

これからもよろしくお願ひします。

